

ES-DLA50P

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。
弊社商品は、安全に十分配慮して設計されています。
しかし、電気製品はすべて、間違った使い方をすると、
火災や感電などにより人身事故になることがあります。
事故を防ぐために、次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をお読みください。製品全般の注意事項が記されています。

定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。
設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、電源プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。
点検の内容や費用については、お買い上げ店、または当社サービス係にご相談ください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードが破損していることに気づいたら、すぐにお買い上げ店、または当社サービス係に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら…

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたりキャビネットを破損したときは

目次

安全にお使いいただくために	2-3
主な特長	4
正しくお使いいただくために	4
各部の名称と働き	5
使用方法	6
主な仕様	7
外形・寸法図	7
磁気ループアンテナ施設に関する注意	8
磁気ループ受信機の使用参考例	9

- 
- ①電源を切る。
 - ②電源コードや接続コードを抜く。
 - ③お買い上げ店または当社サービス係に連絡する。

安全にお使いいただくために



警告

以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大ケガなどの人身事故の原因となります。

 電源プラグをコンセントから抜く	万が一異常が起きたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く。 ●煙が出たり、変なにおいや音がする。 ●機器の内部に異物や水などが入った。 ●本機を落としたり、キャビネットを破損した、など。 このような状況の時には、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に点検、修理をご依頼ください。
 禁止	交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 本機を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。 また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	電源コードが傷んだまま、機器を使用しない。 以下の行為は絶対にしないでください。コードが破損した状態で使用すると、火災・感電の原因となります。 ●電源コードを傷つけること。 ●電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにする。 ●電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりすること。 万一、電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 必ず電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	本体の上や近くに液体などが入った容器を置かない。 内部に水、薬品などの液体が入ると火災・感電の原因となります。
	高温、多湿になる場所に設置しない。このような場所では使用しない。 湿気、ほこり、油煙、湯気の多い場所や、高温になる場所に設置して使用しないでください。 またこのような場所での保管は避けてください。接触不良、絶縁不良などにより火災や感電の原因となります。 強い衝撃を与えない。 高い所から落とす、物をぶつけるなどの強い衝撃を与えると、本機の損傷や故障の原因となります。 あるいは落下したものが人体に当たった場合、大ケガの原因となることがありますので、強い衝撃を与えないでください。
 接触禁止	乳幼児に触れさせない。 乳幼児の手の届かないところに本機を設置してください。落下して人体に当たった場合、大ケガの原因となります。またコンセント部分に金属片などが入るなどした場合、火災や感電の原因となることがあります。 なお本機のコントロール端子には小さなショート金具を使用しているので、ケガや誤飲などの危険があるため、乳幼児が触れることがない環境で使用・保管してください。
	雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない。 感電の原因となることがあります。
 分解禁止	キャビネットは絶対に外さない。絶対に改造しない。 キャビネットを開けて改造すると、火災・感電の原因となりますので、絶対におやめください。 内部の点検、修理の際は、必ず販売店にご依頼ください。

安全にお使いいただくために



注意

以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、ケガをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

 ぬれ手禁止	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。
 強制	それぞれの機器の取扱説明書の指示に従って接続する。 本機のコンセントに接続する際は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、指示に従って接続してください。 接続に使用する電源コードは、指定以外のものを使用すると、故障、火災・感電の原因となります。 音響システムの音量を最小にしておく。 本機の電源スイッチを入れる前に、音響システムの音量を最小にしておいてください。電源ノイズの影響によってスピーカーから大きな音が出た場合、聴力障害などを引き起こす原因となることがあります。
 禁止	不安定な場所に置かない。 ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落下した際に思わぬケガの原因となることがあります。設置場所、取付け場所の強度も十分に確認してください。 電源コードを熱器具に近づけない。 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となります。 使用中に電源コードを抜かない。 電源を入れた状態で電源プラグをコンセントから抜かないでください。本機の故障の原因となるばかりでなく、ご使用の機器、システムの故障・破損の原因となることがあります。また電源ノイズの影響によってスピーカーから大きな音が出た場合、聴力障害などを引き起こす原因となることがあります。 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。 接続コードは安全な場所に配置する。 電源コードやオーディオケーブル類を足に引っ掛けると、機器の落下や転倒などによりケガの原因となることがあります。安全に配慮して、コード類を配置してください。 カバーでおおうような状態で使用しない。 自然放熱を妨げる状態で使用すると、過熱して火災や感電の原因となることがあります。
 電源プラグをコンセントから抜く	移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 移動させる際は本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 さらに本機のコンセントに接続している各機器の電源プラグも外してください。外していないと、電源コードに足を引っ掛けるなど、思わぬケガなどの原因となることがあります。 使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 使用後は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。 また長期間使用しないときにも、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておいてください。 お手入れの際は安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 電源プラグがコンセントに差し込んだままだと、感電の原因となることがあります。

主な特長

現在日本国内には約600万人の聴覚障害者の方々が生活をされています。今後高齢者社会に伴います増加してくることが予想されます。

補聴器をお使いの方々は内蔵マイクにより、耳に代わって補聴器の増幅器能を使って音を大きくして聴力を補っています。しかしながら周囲の騒音も同時に大きくしてしまい、目的の音が聞こえ難くなってしまいます。磁気ループシステムはその聞こえ難さを解決するために、今お使いの補聴器をそのまま使って必要な音だけを伝えるシステムです。（補聴器にTモードが付いてる機種が対応です）

- 各種大小ホール・官公庁・金融機関・教育機関等で耳の聞こえ難いお客様に大切な音の情報をクリアーに情報を伝える事が出来ます。
- 最新のデジタルアンプの導入により電源の使用効率が85%（従来機は10%以下）以上となり小型化、軽量化、省電力に貢献しています。
- 小型軽量のためイベント会場、講演会、説明会などに移動して使用できます。
- オプションとしてワイヤレスマイク、ポータブルケース、等を選べます。
- お客様のご要望にあわせたカスタマイズも承ります。

正しくお使いいただくために

ご注意

電源電圧について海外の電源電圧には対応していません。

ループアンテナ端子に金属等の導体を差し込まないでください。ショートの原因となり内部の回路が破損する事が有ります。

高温多湿の環境での使用は故障の原因になります。

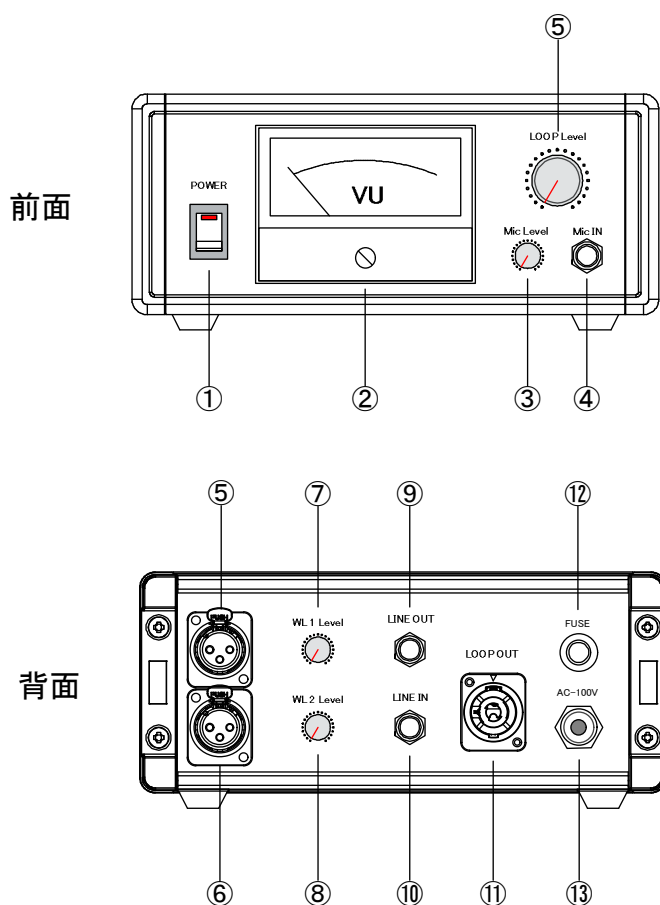
小型軽量の為、落下や外部応力は加えないでください。

お手入れについて

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませたやわらかい布で拭いてください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

各部の名称と働き



- ① 電源スイッチ
- ② ループ出力メーター
- ③ フロントマイク入力レベル調整
- ④ フロントマイク入力
- ⑤ ワイヤレスマイク入力-1
- ⑥ ワイヤレスマイク入力-2
- ⑦ ワイヤレスマイク入力-1 入力レベル調整
- ⑧ ワイヤレスマイク入力-2 入力レベル調整
- ⑨ ライン出力
- ⑩ ライン入力
- ⑪ ループ出力端子
- ⑫ 電源フューズ
- ⑬ AC-100電源

使用方法

磁気ループES-DLA50Pの接続と設定方法

- ①本機及び接続する機器の電源切っておきます。各機器の電源コードを本機のコンセントにつないでから、本機の電源コードを壁のコンセントにつなぎます。
- ②ES-DLA50Pの背面のループ出力コネクタにアンテナを接続、サービスエリアにアンテナをループ状に配置
- ③ES-DLA50Pの前面のマイク入力端子にマイク音声信号を入力
- ④ES-DLA50Pの前面のマイク音量を使ってメーターの0VUを越さないように音声入力をセット
- ⑤背面のワイヤレスマイク入力に対応した音声を入力、レベルを調整し、メーターを0VUを越さないように音声入力
- ⑥背面のLINE入力は固定で-10 dB入力を基準とする
- ⑦他の音響機器への音声を出力する場合は、背面のLINE-OUTより接続する

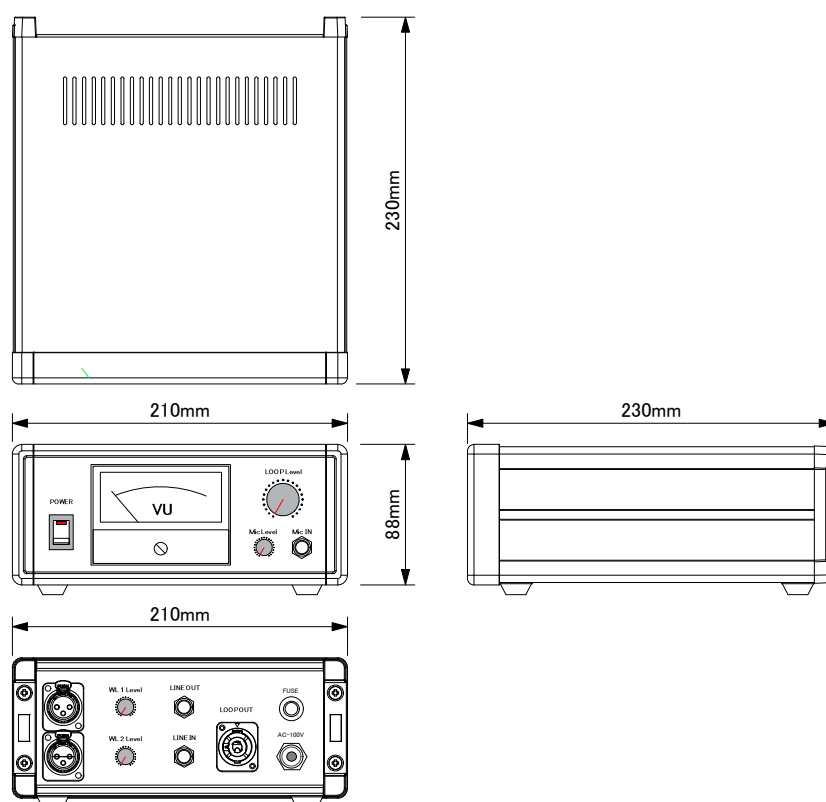
補聴器の起動と調整

- ①受信機のスイッチを ON-T-M をTモードにセットする
- ②磁気ループのサービス範囲（ループ内）に移動し音量を最適レベルに合わせ、歪みの無い事を確認する

主な仕様

- ループアンプドライブ方式 デジタル方式ドライブ
- ループ出力 50W (4Ω負荷時)
- 音声入力レベル
 - ① 前面マイク入力 -55dB ホーンジャックアンバランス
 - ② 背面WL-1 入力 -55dB XLRタイプアンバランス
 - ③ 背面WL-2 入力 -55dB XLRタイプアンバランス
 - ④ 背面LINE 入力 -10dB ホーンジャックアンバランス
 - ⑤ 背面LINE 入力 -10dB ホーンジャックアンバランス
- 電源電圧 AC-100V (90V～110V)
- 消費電力 48W
- 大きさ W/210mm H/88mm D/230mm (突起物含まず)
- アルミケース W/470mm H/160mm D/360mm (突起物含まず)

外形図・寸法図

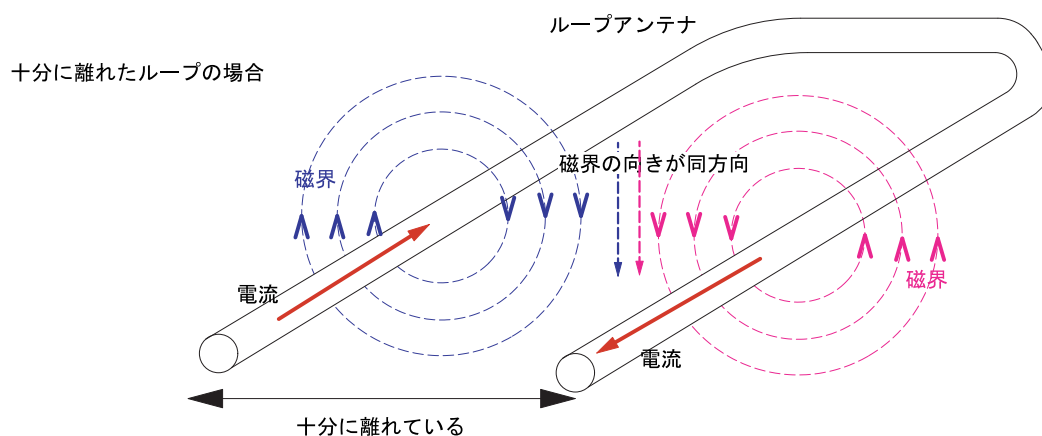


難聴者支援システム・磁気ループアンテナの敷設に関する注意点

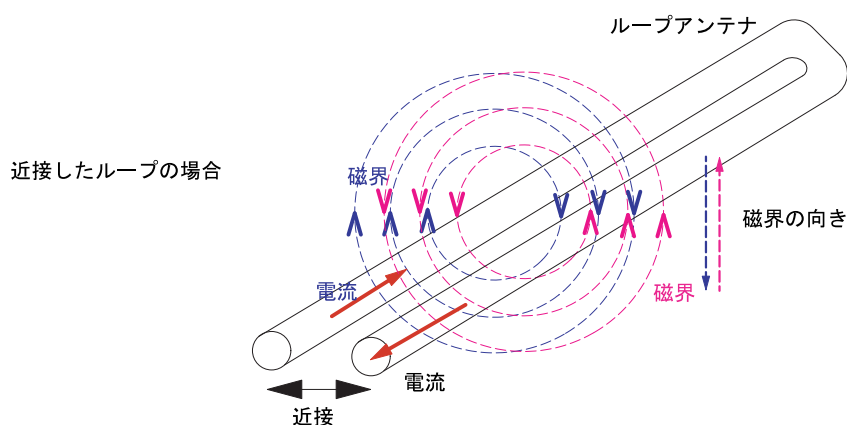
磁気ループアンテナは導線を通る電流によって発生する磁界を利用したシステムです。したがって効率よく磁界を発生させることが重要となります
敷設時の注意点

- ① ループの径は使用する増幅器のパワーとサービスエリアを考慮して決める
- ② ループアンテナは一つのアンテナがクロスしたり近接したりする事なく敷設する
(理由は下記の図の通り)
- ③ 複数のループが近接する場合はアンテナに供給する電流の向き(極性)を変えてお互いのループ間で打ち消しあわないようにする。
- ④ 敷設時には最適効率になるようにアンテナが増幅の最適なインピーダンスになるように測定しながらアンテナの巻き数を決定する。

(図：ループアンテナが近接した場所でリターンしたような場合の弊害)



ループアンテナの中では磁界の方向が同一方向
のために磁界の減少はない



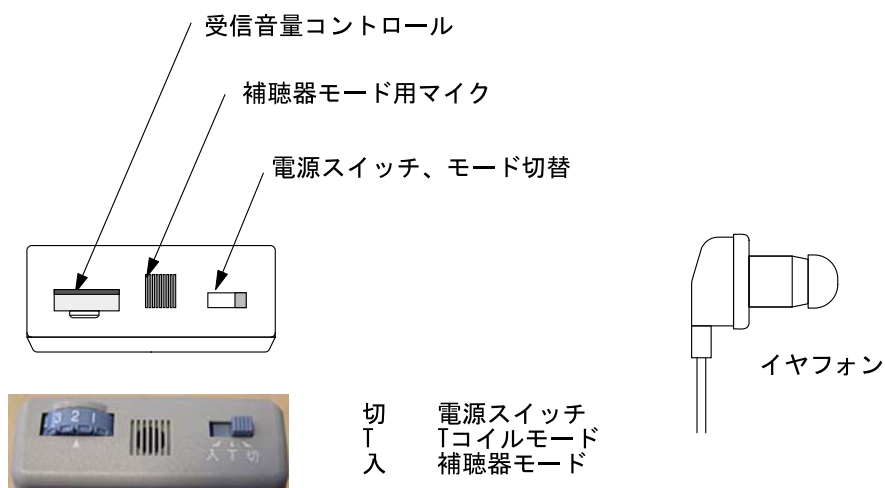
ループアンテナが近接した場合は磁界が打ち消しあって
ために磁界が弱くなる

磁気ループ受信機の使用参考例(参考機種HA-27DX)

各部の働き



リオン HA-27DX



難聴者支援システムでは“T”の位置で使用します。

